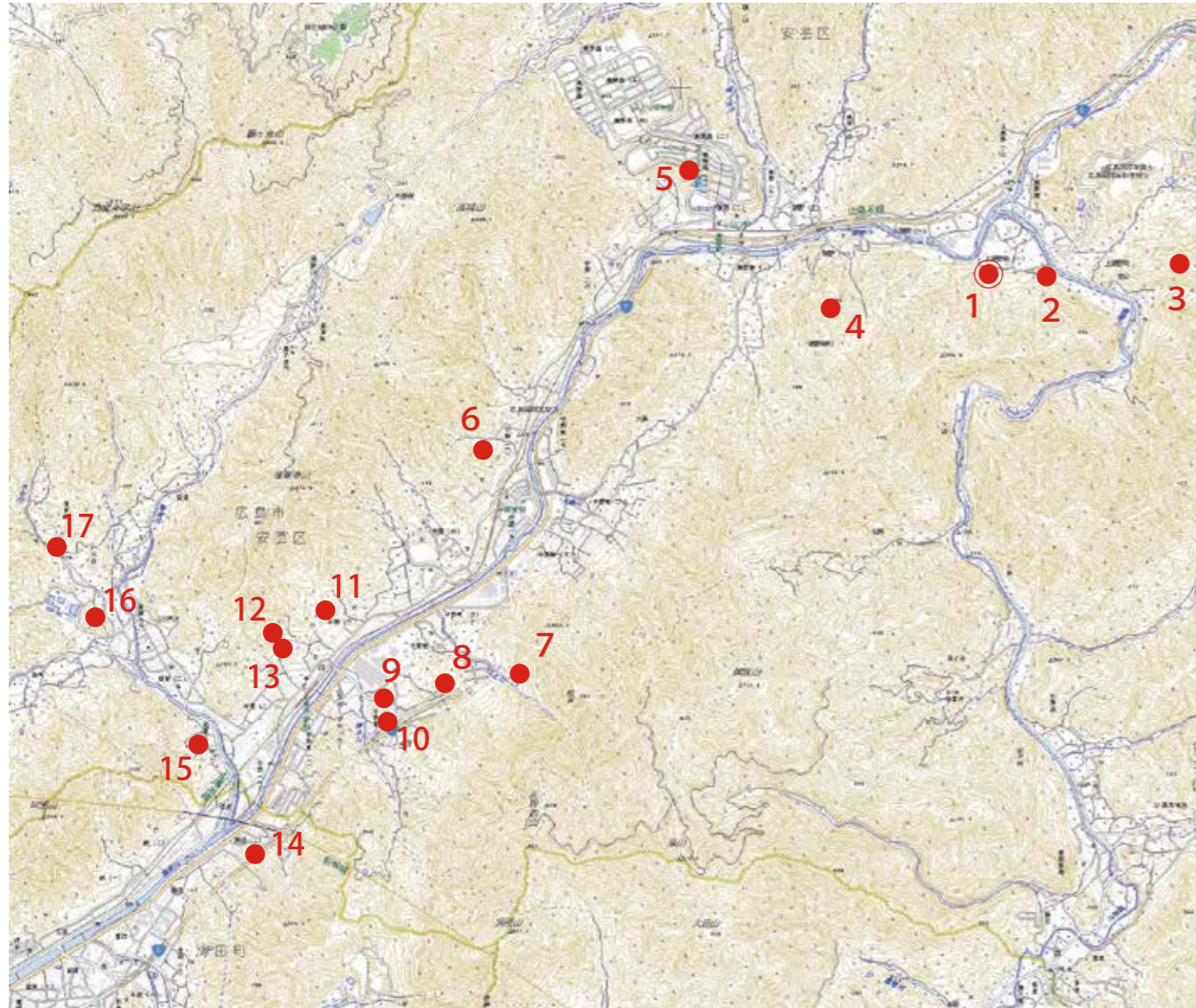


周辺の遺跡



1. 塔之原遺跡
2. 段之原山遺跡
3. 坊山古墳群
4. 一井木貝塚
5. 桑原東遺跡
6. 井原遺跡
7. 三谷遺跡
8. 山王貝塚
9. 成岡 A 地点遺跡
10. 成岡 B 地点遺跡
11. 川原地貝塚
12. 大師堂裏山古墳群
13. 大師堂裏古墳
14. 上安井古墳
15. こもり塚古墳群
16. 中須賀神社境内遺跡
17. 水谷貝塚

塔之原遺跡発掘調査に関するお問い合わせ

公益財団法人広島市文化財団 文化科学部 文化財課

〒732-0052 広島市東区光町二丁目 15 番 36 号

TEL(082)568-6511 FAX(082)568-6513 <http://www.mogurin.or.jp>

第31回青空ミュージアム in

とうのはらいせき

塔之原遺跡

(広島市安芸区上瀬野町)

塔之原遺跡は、上瀬野町の瀬野川に熊野川が合流する地点を見下ろす台地上にある遺跡です。今回は、安芸バイパスの建設工事に伴う遺跡の記録保存を目的として、平成26年6月から発掘調査を行いました。



遺跡上空から上瀬野の平野部を望む

(公財)広島市文化財団 文化科学部 文化財課 2014年10月

はじめに

塔之原遺跡は、瀬野川と熊野川が合流する地点を見下ろす台地上に位置します。この遺跡の一部は2003年から2004年にかけて(公財)広島県教育事業団によって発掘調査が行われ、弥生時代後期～古墳時代初め頃のムラの跡などが確認されています。

今回は以前の調査区に隣接した場所の発掘調査を行い、弥生時代後期～古墳時代初め頃の竪穴住居跡のほか、中世～近世の石垣や土坑等の遺構を確認しました。



火事にあった竪穴住居跡

建物の木材が炭になって残っていました。



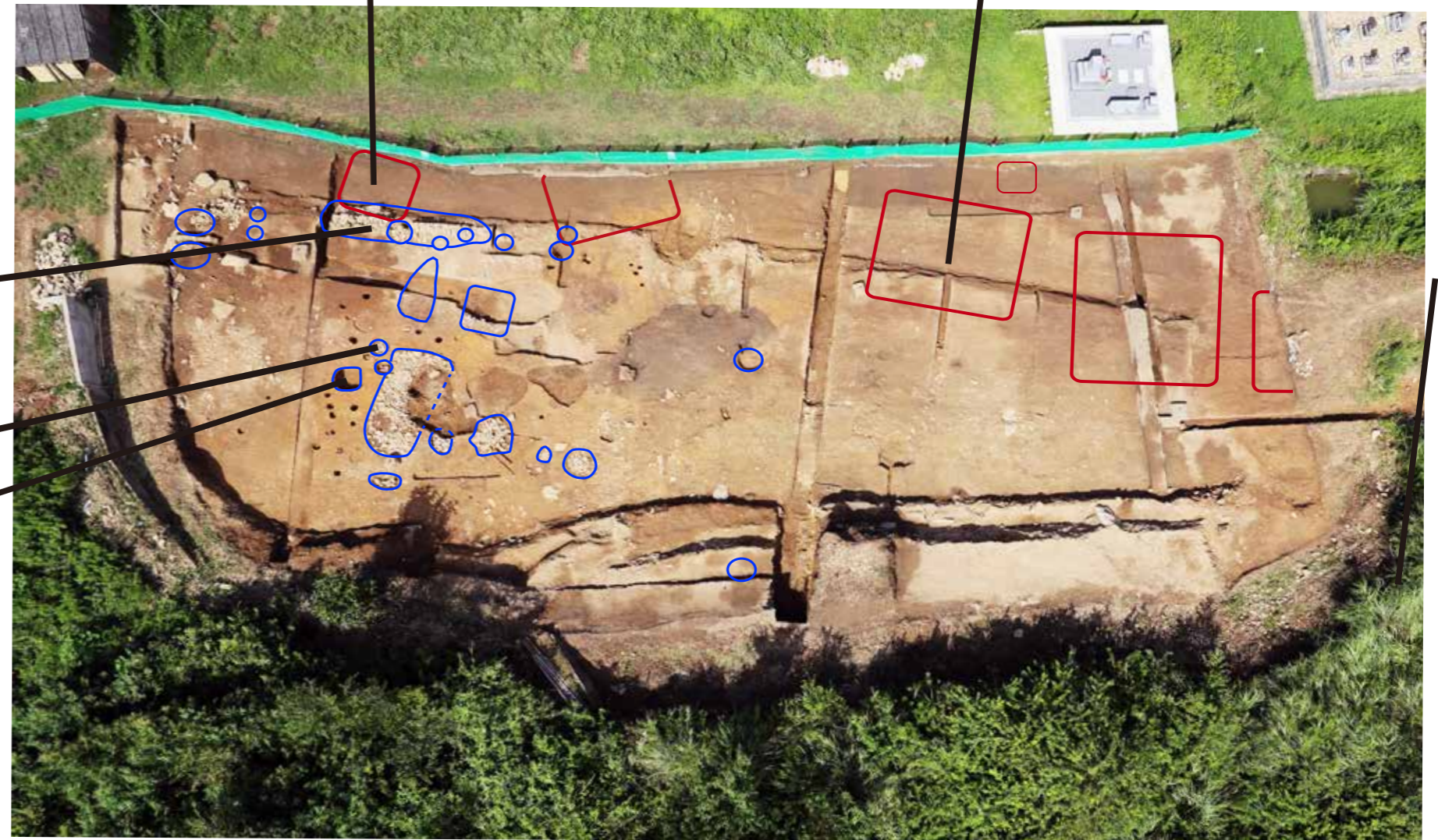
竪穴住居跡

床のさまざまな位置で火を使っている跡が見つかりました。



石垣遺構

石垣の面からは炭化物が広がって見つかりました。このことからこの場所は火事があったと推測されます。



主な遺構 青色…中世～近世に関する遺構 赤色…ムラの跡に関する遺構



桶の跡が見つかった土坑

石を取り除いた穴の中から桶の跡が見つかりました。



石のつまった土坑

20cm程度の石がたくさんつまった大きな穴が見つかりました。

まとめ

- ・前回の調査の続きの弥生時代後期～古墳時代初め頃のムラの跡が確認されました。
- ・中世～近世にかけての遺構が確認されました。
- ・広島藩が文政8年(1825)に編纂した地誌である『芸藩通志』に、上瀬野村に「清道寺」というお寺の跡があったことが記されており、その位置と記述が塔之原遺跡の場所とほぼ一致することから、中世～近世の石垣や土坑は寺院跡の一部であると考えられます。